

全国・県の学力調査の結果について

調査実施直後には、本校の大まかな概要について5月7日付けの校長室だより(第2号)でお知らせしておりましたが、6月に県の学力・学習状況調査、そして8月27日に全国学力・学習状況の結果が届きました。結果や結果を受けての今後の学校の取組についてお知らせします。

結果の概要について

1 県学力・学習状況調査について(5年生対象)

まずは、県の学力・学習状況調査については

- 国語の平均正答率は、市の平均正答率(以下「市」と、ほぼ同程度
- 算数の平均正答率は、市を若干上回る

という結果でした。

■県学力・学習状況調査の平均正答率(全国：全国期待値、県：県平均、市：市平均)

	全体			基礎・基本			思考・判断・表現		
	全国	県	市	全国	県	市	全国	県	市
国語	66.7	62.0	61.2	69.5	64.8	63.7	50.2	46.0	46.6
算数	70.5	71.3	72.0	73.0	73.3	74.2	59.0	61.8	61.8

また、「基礎・基本」については国語、算数とも県とほぼ同程度。また、「思考・判断・表現」については、国語は県とほぼ同程度であり、算数は県を上回ると結果となりました。

2 全国学力・学習状況調査について(6年生対象)

次に、全国学力・学習状況調査については

- 国語の「知識」に関する問題(以下「国語A」)では、市を若干下回り、課題がある
- 国語の「活用」に関する問題(以下「国語B」)では、市とほぼ同程度である
- 算数の「知識」に関する問題(以下「算数A」)では、市とほぼ同程度である
- 算数の「活用」に関する問題(以下「算数B」)では、市を大きく下回り、課題がある
- 理科は市を若干上回ったが、課題がある

という結果でした。

■全国学力・学習状況調査の平均正答率(全国：全国平均、県：県平均、市：市平均)

	A「知識」に関する問題			B「活用」に関する問題		
	全国	県	市	全国	県	市
国語	70.0	69.6	68.6	65.4	63.9	65.2
算数	75.2	74.1	71.7	45.0	42.7	40.6
理科	60.8	59.6	50.9	理科はA、Bの区別なし		

課題と分析された点 ～「書くこと」「読むこと」「考察する力」に課題～

1 県学力・学習状況調査について

国語については漢字の読み書きは、良く身に付いていますが、「書くこと(能力)」、「読むこと(能力)」が全国、県を下回り、特に「叙述を基に読む」ことや、「中心となる語や文を捉えて読む」、「指定された長さで文章を書く」こと等に課題があることが分かりました。算数については、全ての領域・観点で県や全国期待値を上回っていましたが、小数や3けたの割り算、かっこを含む計算規則の理解、複合図形の面積を求めることなどに課題が見られました。

2 全国学力・学習状況調査について

国語Aで顕著な差が見られたのは、「話す・聞く能力」と「読む能力」であり、内容を読み取り登場人物の相互関係や必要な情報を捉えることに課題が見られました。国語Bでは、「書く能力」に差が見られ、目的や意図に応じて書くことに課題が見られました。

算数Aでは「知識・理解」に顕著な差が見られ、小数の計算結果の概数を捉えることや、グラフの読み取りに課題が見られました。算数Bでは「技能」、「数学的な考え方」に顕著な差が見られ、図形の性質を用いて考えたり、比較量の割合から基準量を求めたり、根拠を明確にして説明をすることに課題がみられました。

理科については、「科学的な思考・表現」に顕著な差が見られ、グラフを基にして考察したり、事象を基に考えたりすることや、考察や分析したことを記述することに課題が見られました。

生活習慣や学習習慣について ～読書習慣に大きな課題～

5、6年生とも「はやね・はやおき・朝ごはん」の習慣が身に付いており、「平日 1 時間以上」、「休日 2 時間以上」学習している割合も全国や県を上回っています。

「普段テレビ等を2時間以上視聴」している割合は、6年生では県や全国とほぼ同程度なのに対し、5年生は県を23.8ポイントも上回っており、5年生に課題が見られます。また、「1日当たりの携帯やスマホでのメールやインターネットの時間」は6年生が全国や県を下回っているのに対し、5年生は県を9.0ポイントも上回っており、こちらも5年生に課題が見られました。

そして平日「全く読書をしない」の割合は、5年生では62.5%、6年生では50.0%であり、大きな課題が見られました。

改善に向けた取組

この結果を踏まえて全職員で以下のことに取り組んでいくことを確認いたしました。

- 【国】「新聞」づくり等の学習活動を計画的に位置付ける。(他教科においても)
- 【国】伝えたいことを短い言葉で表現したり、見出しから内容を考えて読んだりする習慣を身に付けさせる。
- 【国】「自分の考えを書く」ことを授業や学習感想で習慣化していく。
- 【算】日常との関わりがある算数的な考えを活用できるような学習活動を工夫していく。
- 【算】家庭学習等でも様々なスタイルの問題に取り組みさせる。
- 【理】実験や観察のねらいをつかませ活動に取り組みさせる。
- 【理】実験や観察の結果を、重要語句を用いてまとめさせたり、友達の考えと比較させたりすることを積み重ねる。